

WHOの新型コロナウイルスワクチンの利用に関する指針（概要）（2023年3月30日公表）

WHOは、接種により得られる公衆衛生上の利益を踏まえ、定期の接種プログラムにおいて、高齢者等については更なる追加接種を推奨する一方、健康な乳幼児、小児、成人等に対する更なる追加接種は推奨しないとしている。また、**健康な乳幼児、小児については、初回接種についても、疾病負荷等を踏まえ各国において検討すべき**であるとされている。

- 現在、新型コロナへの感染やワクチン接種により、集団レベルの免疫が相当程度獲得されている。また、オミクロン株は感染力は高いが重症度が低く、感染による死亡等が主に高齢者等の重症化リスクの高いグループに生じている。
- こうした状況から、**重症化リスクの高い人々を直接保護することを公衆衛生上の最優先事項として、現在の疫学的な状況に基づくシナリオ（ウイルスが強毒化することはないが、重症化リスクの高い人々への定期的な追加接種（periodic booster doses）を要する状況）**において、以下のような接種の推奨を示す。
- 本指針で検討されたトピックに関する既存の政策がある国では、ウイルスの変異、ワクチンの効果、プログラムの優先順位を考慮し、指針に照らして将来の政策を検討することが推奨される。

| 優先度 | 具体的な対象者 | 初回接種、追加接種 | 更なる追加接種 |
|-----|---|------------------------|---------------------------------------|
| 高 | ・高年齢者※ ¹ ・重大な併存疾患や高度の肥満を有する成人 ・中等度から重度の免疫不全の生後6か月以上の者 ・妊婦 ・医療従事者 | 推奨 | 推奨（最後の接種から12ヶ月後又は6ヶ月後※ ² ） |
| 中 | ・健康な成人 ・高度の肥満や併存疾患を有する生後6か月～17歳の者 | 推奨 | 定期的には推奨しない※ ⁴ |
| 低 | ・健康な生後6か月～17歳の乳幼児、小児 | 各国で検討すべき※ ³ | 定期的には推奨しない※ ⁴ |

※¹ 年齢の定め方は各国において検討すべき。概ね50-60歳が一般的。

※² 超高齢者（年齢の定め方は各国において検討すべき。概ね75-80歳が一般的）、多数の併存疾患を持つ高齢者、免疫不全の者については6ヶ月後

※³ 疾病負荷、費用対効果及びその他の健康やプログラム上の優先度や機会コスト等に基づく。

※⁴ 「定期的には推奨しない」とは、「ルーチンの接種プログラムに含めることを推奨しない」という意味。国によっては、集団リスク、疾病疫学、または保健上の優先事項に基づいて、ルーチンの接種プログラムの中で接種を行う選択を取り得るとしている。

- 現在入手可能なワクチンにおける、オミクロン流行下での症候性疾患や感染の減少に対する効果は限定的。モデリングによると、ワクチン接種の公衆衛生上の利益（費用対効果）は、健康な小児と青少年について最も低いことが報告されている。

初回接種に係る諸外国の状況 (2023年春以降)

| 国・地域 | 発出機関 | 接種タイミング | 初回接種を推奨される者※1 | 初回接種を接種し得る者 | 使用ワクチン※2 | 備考 |
|--|------------|-------------------|---|---|---|--------------------------------------|
|  米国 | CDC | 2023年春 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6ヶ月以上のオミクロン株対応2価ワクチン未接種者 | — | 2価ワクチン等 | 2023/4/19発表 年1回の接種も示唆 |
|  英国 | NHS | 2023年春 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月～4歳の重症化リスクの高い者※3 | — | 2価ワクチン等 | 2023/4/26発表 |
| | JCVI | 2023年秋 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月以上の重症化リスクが高い者 | — | (未発表) | 2023/1/25発表 |
|  カナダ | NACI | 2023年春 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月～4歳の中等度から重度の免疫不全の児 5歳以上の者 | — | 2価ワクチン等※4 | 2023/3/3発表 |
| | | 2023年秋 | <ul style="list-style-type: none"> 5歳以上の者 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月～4歳児 | 2価ワクチン等※4 | 2023/7/11発表 |
|  フランス | 保健省 | 2023年春 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月～4歳の免疫不全の児 5歳以上の者 | — | 従来型ワクチン等※5 | 2023/4/27発表 |
|  ドイツ | STIKO /保健省 | 2023年春～ 年1回へ移行 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月以上の重症化リスクが高い基礎疾患を有する者 | — | 従来型ワクチン等 | 2023/5/25発表 |
|  イスラエル | 保健省 | 2022年秋 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月以上の者 | — | 従来型ワクチン等 | 2022/9/4発表 |
|  国際連合 | WHO | (記載なし) | <ul style="list-style-type: none"> 18歳以上の者 6か月以上の免疫不全者、重症化リスクが高い基礎疾患を有する者、高度肥満の者 妊婦 医療従事者 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月～17歳の健康な小児 | 2価ワクチンが、従来型に比べて優れる可能性 2023年秋接種にはXBB対応の1価ワクチン | 2023/3/30発表 左記は、定期的な接種プログラムに関する推奨 |
|  (参考) 日本 | 厚労省 | 2023年春 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月以上の者 | — | 2価ワクチン等 | 2023/3/7発表 |
| | | 2023年秋 | <ul style="list-style-type: none"> 生後6か月以上の者 | — | XBB対応の1価ワクチン | 2023/6/16発表 |

※1 条件を満たす初回シリーズ未接種者。接種対象者の具体的範囲については各国個票を参照。 ※2 mRNA以外のワクチンに関しては各国個票を参照。年齢によって従来型ワクチンのみ使用可能な場合がある。









※3 プログラムは6/30で終了。ただし、2023年7月1日以降、秋の接種プログラム開始までの間は新たに重症化リスクが高いと診断された者に対して、GPが接種が必要と判断した場合に限り接種を提供。

※4 生後6か月～5歳児に適応外で2価ワクチンを接種し得ると推奨。 ※5 30歳以上の者に対してはモデルナ社オミクロン株対応2価ワクチンも承認されている。

Source: CDC, CDC, CDC, NHS, UKHSA, JCVI, NACI, NACI, フランス保健省, HAS, ドイツ保健省, STIKO, イスラエル保健省, WHO, 厚生労働省

2. 本日の論点 【1】令和5年秋冬の接種について (1) 接種の対象者等について

追加接種に係る諸外国の状況 (2023年春以降) ①


| 国・地域 | 発出機関 | 接種タイミング | さらなる追加接種の対象者 | | 使用ワクチン | 備考 |
|--|------------|----------------------|--|-----------------------|---|---|
| | | | 推奨される者 | 接種し得る者 | | |
|  米国 | CDC | 2023年春 | — | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | 2価ワクチン等 | 2023/4/19発表 ※年1回の接種も示唆 |
| | | 2023年秋 | (未発表) | (未発表) | XBB.1.5対応1価ワクチン | 2023/6/15 FDA VRBPACでワクチン株決定 |
|  英国 | NHS | 2023年春 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | — | 2価ワクチン等 (年齢に応じ選択※2) | 2023/3/3 UKHSA及びNHSより発表 |
| | | 2023年秋 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | — | (未発表) | 2023/1/25 JCVIより推奨として発表 |
|  カナダ | NACI | 2023年春 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | — | 2価ワクチン等 (年齢に応じ選択) | 2023/3/3 NACIより発表 |
| | | 2023年秋 | • すべての者※3 | • 生後6か月～4歳の初回シリーズ未接種者 | 新たな組成のワクチン (詳細未発表) | 2023/7/14 NACIより発表 |
|  フランス | 保健省 | 2023年春 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | • 追加接種希望者 | 2価ワクチン等 (年齢に応じ選択※2) | |
| | | 2023年秋 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | — | (未発表) | 2023/4/27 保健省HPで情報発信 |
|  ドイツ | STIKO /保健省 | 2023年春～年1回へ移行 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | — | 変異株対応ワクチン (2価ワクチン含む) | 2023/5/25 STIKOより発表 |
|  イスラエル | 保健省 | 現在の接種 ※時期を明示していない | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | • その他全ての者 | 2価ワクチン等 | 国民に年1回定期的に提供すると発表 ※前回接種等から3ヶ月経過後 |
|  国際連合 | WHO (記載なし) | | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①高齢者、重大な併存疾患等を有する者 →更なる接種：6～12か月後の追加 ②健康な50～60歳までの成人等 →更なる追加：定期的には推奨しない ③健康な小児 (生後6か月～17歳) →更なる追加：定期的には推奨しない </div> | | 2価ワクチンが、従来型に比べて優れる可能性 秋接種には単価のXBBワクチンを推奨 | 2023/3/30発表 左記は、定期的な接種プログラムに関する推奨 2023/5/18発表 |
|  (参考) 日本 | | 2023年春 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | • 医療従事者 • 5～11歳の小児 | 2価ワクチン等 | |
| | | 2023年秋 | • 高齢者及び重症化リスクの高い者等※1 | • その他すべての者 | XBB対応の1価ワクチン | |

※1 接種対象者の具体的な範囲については、次ページを参照。 ※2 年齢によっては従来型ワクチンのみが利用可能な場合がある。

※3 新たな組成のワクチンの適応として承認された年齢層の、前回接種又は感染から6ヶ月以上経過した者 ※4 現時点では、保健省HPに記載があるのみで正式な決定かどうかについては情報が得られない。

Source: CDC, CDC, CDC, FDA, NHS, UKHSA, UKHSA, UKHSA, JCVI, NACI, NACI, HAS, フランス保健省, フランス保健省, ドイツ保健省, STIKO, DoctorsOnly, WHO

追加接種に係る諸外国の状況 (2023年春以降) ②









| | 春接種 | | 秋接種 | |
|--|--|---|---|-----------|
| | 接種が推奨される者 | 接種し得る者 | 接種が推奨される者 | 接種し得る者 |
| 米国  | 該当者なし | <ul style="list-style-type: none"> 65歳以上（前回接種から4か月以上） 中等度から重度の免疫不全者（前回接種から2か月以上） | 未発表 | 未発表 |
| 英国※1  | <ul style="list-style-type: none"> 75歳以上の者 介護施設入居者 5歳以上の免疫不全者 | — | <ul style="list-style-type: none"> 春接種よりも広い範囲の重症化リスクの高い者（詳細については未発表） | — |
| カナダ  | <ul style="list-style-type: none"> 18歳以上で追加接種（3回目）未接種者 65歳以上の者や基礎疾患を有する者等の重症化リスクが高い2022年秋の追加接種未接種者 | <ul style="list-style-type: none"> 5-11歳の3回目接種未接種者 12-64歳の2022年秋の追加接種未接種者 65歳以上の者、基礎疾患を有する者のうち、2022年秋の追加接種から6か月以上が経過した以下の者 <ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の者 高齢者施設及びその他のケア施設に入居の者 18歳以上の免疫不全者 65-79歳の新型コロナウイルス未感染者 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな組成のワクチンの適応として承認された年齢層に属し、前回接種又は感染から6か月以上が経過した者 | — |
| フランス※2  | <ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の者 免疫不全者 介護施設入居者 その他医療従事者との共同意思決定に基づく医学的事由を有する者 | <ul style="list-style-type: none"> 追加接種希望者 | <ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の者 生後6か月以上で重症化リスクが高くなる併存症を持つ者 免疫不全者 医療従事者との共同意思決定に基づく医学的事由を有する者 高リスク者と同居又は定期的に接触する者（医療・社会福祉従事者を含む） | 未発表 |
| ドイツ  | <ul style="list-style-type: none"> 最終接種又は感染から12か月以上経過した、重症化リスクが高い者 <ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の者 — 介護施設入居者 — 妊婦 生後6か月以上の重症化リスクの高い基礎疾患を持つ者 ワクチンの免疫効果が無い者と同居している家族等 最終接種又は感染から12か月以上経過した医療介護従事者 | ※ドイツについては、2023年以降の接種について終了時期を設けておらず、一定程度長期的な接種プログラムとして示しているものと考えられる。なお、接種の時期については秋の接種が望ましいとしている。 | | |
| (参考) 日本  | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者（65歳以上） 基礎疾患を有する者（5-64歳） | <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者等 5-11歳の小児 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者（65歳以上） 基礎疾患を有する者（64歳以下） | 左記以外の全ての者 |

※1 英国の秋接種の推奨範囲は現時点でJCVI（諮問組織）の推奨であり、NHSの推奨ではない。ただし、2023年2月に、NHSより、秋接種はJCVIの推奨に沿って接種を実施すると公表されている。

※2 フランスの秋接種の推奨範囲は現時点でHAS（医薬品の評価機関）の推奨であり、保健省の推奨ではない。

6か月—17歳児への初回接種及び追加接種に係る諸外国の状況（2023年春以降）

6か月—17歳において、初回接種、追加接種はアメリカとイスラエルは健康な児にも接種を可能としているが、他の国では高リスク児への接種のみを推奨している。

| 国・地域 | 基本方針の 発出機関 | 初回シリーズ接種に関する基本方針 | 追加接種※ ¹ に関する基本方針 |
|--|---------------|---|---|
|  米国 | CDC | 全ての児※ ² に推奨。(2023/7/17) | (オミクロン株対応2価ワクチン接種によりUp-to-dateとされる。)(2023/7/17) |
|  英国 | UKHSA | 重症化リスクの高い児に推奨※ ³ 。(2023/4/26) | 5歳以上の重度の免疫不全の児に推奨。(2023/4/26) |
|  カナダ | NACI | 6か月—4歳では中等度から重度の免疫不全の児に推奨。全ての児に接種し得る。5歳以上では全ての児に推奨。(2023/6/27) | 6か月—4歳では追加接種は推奨していない。5歳以上では重症化リスクが高い基礎疾患を持つ児に推奨、またその他の児も接種し得る。(2023/6/27) |
|  フランス | 保健省 | 6か月—4歳では免疫不全の児、及び免疫不全の児と密に接触する児に推奨。5歳以上では全ての児に推奨。(2023/4/27) | 重症化リスクが高い基礎疾患を持つ児、免疫不全の児、免疫不全者と同居している児に推奨。12歳以上ではその他の児も接種し得る。(2023/4/27) |
|  ドイツ | 保健省 | 基礎疾患を有する児に推奨。(2023/5/25) | 基礎疾患を有する児に推奨。(2023/5/25) |
|  イスラエル | 保健省 | 6か月—4歳では基礎疾患により高リスクの児に推奨、また全ての児に接種し得る。5歳以上では全ての児に推奨。(2023/1/16) | 5歳以上の全ての児に推奨。(2023/1/16) |
|  国際連合 | WHO | 高度な肥満や併存疾患を有する児、中等度から重度の免疫不全の児に推奨。健康児への接種は各国で検討し得る。(2023/3/30) | 高度な肥満や併存疾患を有する児、中等度から重度の免疫不全の児に接種を推奨。健康児への接種は各国で検討し得る。(2023/3/30) |
|  EU | EMA | (推奨は発表なし。全ての児に接種を承認。) | 12歳以上の重症化リスクが高い基礎疾患を持つ児にオミクロン株対応2価ワクチンを推奨※ ⁴ 。(2022/9/6) |

注) 主要国においては、日本のように努力義務の規定は設けられていない。

※¹ 初回シリーズとしての3回目接種(一部の国においては、免疫不全の小児等に初回シリーズとしての3回目接種を推奨している。)を除く。









※² 6か月—4歳の健康な児にはファイザーによる3回接種又はモデルナによる2回接種を、免疫不全の児にはファイザー又は、モデルナによる3回接種を推奨。5歳児はオミクロン株対応2価ワクチンでファイザー1回又はモデルナ2回接種を推奨。免疫不全児には計3回以上かつオミクロン株対応2価ワクチン1回以上を含む接種を推奨。6歳以上の児はオミクロン株対応2価ワクチン1回接種を推奨。 ※³ 2023年7月1日以降、秋の接種プログラム開始までの間は新たに重症化リスクが高いと診断された児に対して、GPが接種が必要と判断した場合に限り接種を提供。

※⁴ 2023年秋以降の接種について2023年6月6日追加発表あり。

Source: CDC, [DHSC](#), UKHSA, NHS, NACI, フランス保健省, ドイツ保健省, STIKO, [イスラエル保健省](#), [イスラエル保健省](#), [イスラエル保健省](#), [イスラエル保健省](#), WHO, [EMA](#)

6か月-17歳児へのさらなる追加接種に係る諸外国の状況（2023年春以降）

各国ともさらなる追加接種は重症化リスクの高い児にのみ推奨、接種し得るとしている。

| 国・地域 | 発出機関 | さらなる追加接種を推奨される児※1 | さらなる追加接種を接種し得る児※1 | 発表日 |
|---|---------------|---|---|----------------|
|  米国 | CDC | | <ul style="list-style-type: none"> 中等度及び重度の免疫不全の児 | 2023/4/19 |
|  英国 | UKHSA/ NHS | <ul style="list-style-type: none"> (2023年春接種) 5歳以上の免疫不全の児 | | 2023/3/3 |
| | JCVI | <ul style="list-style-type: none"> (2023年秋接種) 免疫不全等高リスクの児 (年齢記載なし) | | 2023/1/25 |
|  カナダ | NACI | <ul style="list-style-type: none"> 12歳以上の重症化リスクの高い児 | | 2023/3/3 |
|  フランス | 保健省 | <ul style="list-style-type: none"> (2023年春接種) 免疫不全の児等 | <ul style="list-style-type: none"> (2023年春接種) 12歳以上の希望者 | 2023/4/27 |
| | HAS | <ul style="list-style-type: none"> (2023年秋接種) 重症化リスクの高い基礎疾患を有する児、免疫不全の児等 | <ul style="list-style-type: none"> (2023年秋接種) 希望者 (年齢記載なし) | 2023/7/4 ※2 |
|  ドイツ | STIKO /保健省 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎疾患を有する児 | | 2023/5/25 |
|  イスラエル | (保健相) | (国民に年1回定期的に接種を提供する見込み) | | 2022/9/4 |
|  国際連合 | WHO | <ul style="list-style-type: none"> 中等度から重度の免疫不全児※3 | | 2023/3/30 |
|  (参考) 日本 | 厚労省 | <ul style="list-style-type: none"> (2023年春接種) 基礎疾患を有する児等 | | 2023/3/7 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> (2023年秋接種) 基礎疾患を有する児等 | <ul style="list-style-type: none"> (2023年秋接種) 全ての児 | 2023/6/16 |

注) 多くの国々では初回シリーズ接種及び1回目の追加接種を引き続き推奨している。使用ワクチンはフランスの5-11歳のみ従来型ワクチン、その他はオミクロン株対応2価ワクチンを推奨。

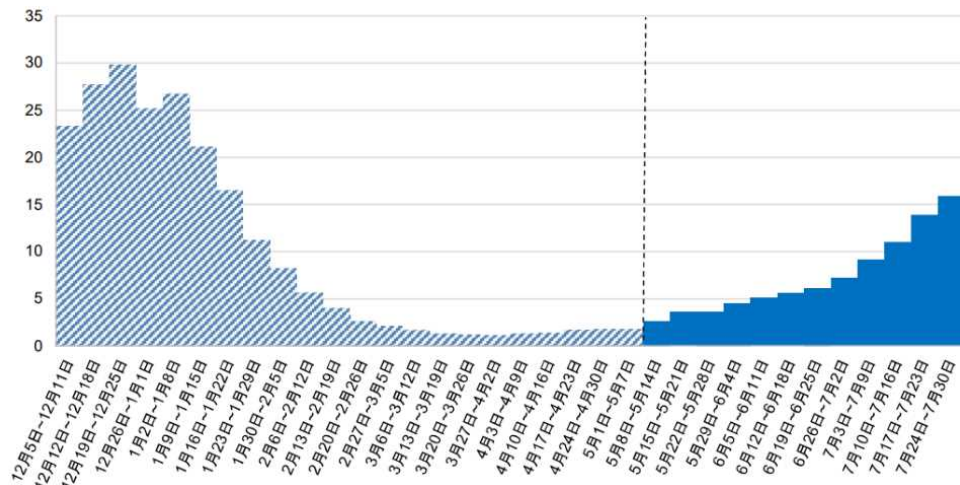
※1 初回接種を終了していることを前提。接種対象者の具体的範囲については各国個票を参照。 ※2 HASの推奨に基づき保健省として記載。

※3 定期的な接種プログラムに関する推奨。最終接種から約6か月後の追加接種を推奨。

Source: CDC, CDC, NHS, UKHSA, UKHSA, JCVI, NACI, フランス保健省, フランス保健省, HAS, ドイツ保健省, STIKO, DoctorsOnly, WHO

直近における新型コロナの感染状況

発症者数 (定点)



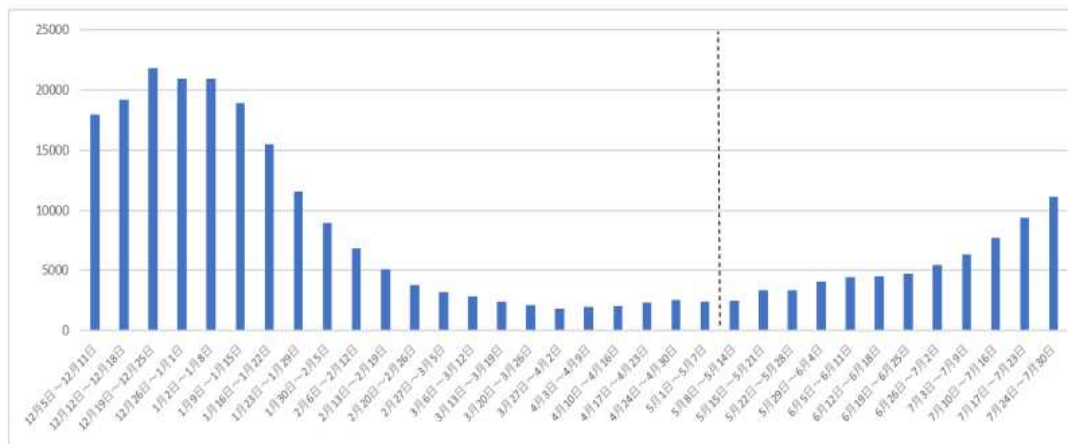
| 区分 | 第26週 | 第27週 | 第28週 | 第29週 | 第30週 |
|--------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|
| | 6/26-7/2 | 7/3-7/9 | 7/10-7/16 | 7/17-7/23 | 7/24-7/30 |
| 10歳未満 | 1.08 | 1.54 | 1.93 | 2.32 | 3.00 |
| 10~14歳 | 0.81 | 1.18 | 1.53 | 1.75 | 1.62 |
| 15~19歳 | 0.60 | 0.72 | 0.99 | 1.10 | 1.03 |
| 20~29歳 | 0.83 | 0.98 | 1.05 | 1.47 | 1.61 |
| 30~39歳 | 0.76 | 0.92 | 1.08 | 1.42 | 1.64 |
| 40~49歳 | 0.85 | 1.07 | 1.27 | 1.66 | 1.96 |
| 50~59歳 | 0.87 | 1.03 | 1.19 | 1.59 | 1.88 |
| 60~69歳 | 0.56 | 0.68 | 0.78 | 1.04 | 1.27 |
| 70~79歳 | 0.47 | 0.56 | 0.66 | 0.84 | 1.04 |
| 80歳以上 | 0.41 | 0.45 | 0.56 | 0.72 | 0.86 |
| 総数 | 7.24 | 9.14 | 11.04 | 13.91 | 15.91 |

※週(疫学週)ごとの全国データの推移

※令和5年5月7日以前は、HER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数

※年代別の定点当たり報告数は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても、必ずしも総数とは一致しない。

入院者数 (定点)



新規入院者数

| 報告週 | 新規入院患者数 (合計値) |
|-------------------|------------------|
| 第26週(6/26 - 7/2) | 5,494 |
| 第27週(7/3 - 7/9) | 6,320 |
| 第28週(7/10 - 7/16) | 7,702 |
| 第29週(7/17 - 7/23) | 9,395 |
| 第30週(7/24 - 7/30) | 11,146 |

重症者数

| 報告週 | ICU 入院中の患者数 (7日間平均) (注) | ECMO または人工呼 吸器管理中の患者数 (7日間平均) |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 第26週(6/26 - 7/2) | 93 | 53 |
| 第27週(7/3 - 7/9) | 91 | 51 |
| 第28週(7/10 - 7/16) | 93 | 50 |
| 第29週(7/17 - 7/23) | 132 | 70 |
| 第30週(7/24 - 7/30) | 158 | 80 |

※G-MIS (医療機関等情報支援システム) で報告のあった医療機関からの報告数

※令和5年5月8日以降のデータに加え、5月7日以前のデータも遡って公表

※集計にはG-MISに入力されているデータをそのまま用いていること、また、遅れて報告されたり修正されたりする場合がありますため集計値は暫定値であることに注意が必要。

注) ICUとは、特定集中治療室管理料、救命救急入院料を算定している病床を指す。

【別紙1】令和4年1～8月における新型コロナの重症化率・致死率について

- 協力の得られた石川県、茨城県、広島県のデータを使用し、令和4年1～8月に診断された新型コロナウイルス感染者を対象に、年齢階級別に重症化率及び致死率を2ヶ月毎（届出日基準）に算出した。
- 人工呼吸器を使用、ECMOを使用、ICU等で治療のいずれかの条件に当てはまる患者を重症者と定義し、重症化率は、経過中重症に至ったが、死亡とならなかった患者、重症化して死亡した患者、重症化の定義を満たさずに死亡した患者の合計を、感染者数で割ったものである。死亡者数は、COVID-19の陽性者であって、死因を問わず亡くなった者を計上※¹している。
- 本データは感染者が療養及び入院期間が終了した際のステータス又は期間の終了日から30日経過した時点でのステータスに基づき算出しており、今後重症者数や死亡者数は増加する可能性がある点に留意。

| | 年齢 | 10歳未満 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代以上 |
|--------------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| R.4※ 1～2月 | 感染者数(人) | 18,511 | 17,400 | 18,549 | 18,274 | 17,354 | 10,598 | 6,887 | 5,357 | 3,949 | 2,159 |
| | 重症/死亡者数(人) | 4/0 | 0/0 | 0/0 | 1/0 | 8/3 | 13/3 | 40/20 | 109/66 | 168/145 | 140/134 |
| | 重症化率(%) (95%信頼区間※ ³) | 0.02 (0.01-0.06) | 0 (0.00-0.02) | 0 (0.00-0.02) | 0.01 (0.00-0.03) | 0.05 (0.02-0.09) | 0.12 (0.07-0.21) | 0.58 (0.42-0.79) | 2.03 (1.67-2.45) | 4.25 (3.65-4.93) | 6.48 (5.48-7.61) |
| | 致死率(%) (95%信頼区間) | 0 (0.00-0.02) | 0 (0.00-0.02) | 0 (0.00-0.02) | 0 (0.00-0.02) | 0.02 (0.00-0.05) | 0.03 (0.01-0.08) | 0.29 (0.18-0.45) | 1.23 (0.95-1.56) | 3.67 (3.11-4.31) | 6.21 (5.23-7.31) |
| R.4※ 3～4月 | 感染者数(人) | 28,020 | 25,422 | 20,055 | 23,085 | 21,106 | 10,957 | 5,864 | 3,711 | 2,287 | 1,112 |
| | 重症/死亡者数(人) | 5/0 | 1/0 | 1/0 | 4/0 | 7/2 | 18/5 | 19/6 | 57/35 | 71/61 | 48/45 |
| | 重症化率(%) (95%信頼区間) | 0.02 (0.01-0.04) | 0.00 (0.00-0.02) | 0.00 (0.00-0.03) | 0.02 (0.00-0.04) | 0.03 (0.01-0.07) | 0.16 (0.10-0.26) | 0.32 (0.20-0.51) | 1.54 (1.17-1.99) | 3.10 (2.43-3.90) | 4.32 (3.20-5.68) |
| | 致死率(%) (95%信頼区間) | 0 (0.00-0.01) | 0 (0.00-0.01) | 0 (0.00-0.02) | 0 (0.00-0.02) | 0.01 (0.00-0.03) | 0.05 (0.01-0.11) | 0.10 (0.04-0.22) | 0.94 (0.66-1.31) | 2.67 (2.05-3.41) | 4.05 (2.97-5.38) |
| R.4 5～6月 | 感染者数(人) | 14,036 | 13,564 | 12,285 | 12,855 | 11,318 | 6,059 | 3,571 | 2,683 | 1,591 | 757 |
| | 重症/死亡者数(人) | 0/0 | 0/0 | 1/0 | 5/0 | 2/1 | 4/2 | 7/2 | 14/7 | 19/17 | 16/15 |
| | 重症化率(%) (95%信頼区間) | 0 (0.00-0.03) | 0 (0.00-0.03) | 0.02 (0.00-0.06) | 0.02 (0.00-0.07) | 0.02 (0.00-0.06) | 0.05 (0.01-0.14) | 0.25 (0.12-0.48) | 0.45 (0.23-0.78) | 1.19 (0.72-1.86) | 2.64 (1.62-4.05) |
| | 致死率(%) (95%信頼区間) | 0 (0.00-0.03) | 0 (0.00-0.03) | 0 (0.00-0.03) | 0 (0.00-0.03) | 0.01 (0.00-0.05) | 0.03 (0.00-0.12) | 0.08 (0.02-0.25) | 0.22 (0.08-0.49) | 1.07 (0.62-1.71) | 2.51 (1.52-3.89) |
| R.4 7～8月 | 感染者数(人) | 59,685 | 58,331 | 61,437 | 65,130 | 68,434 | 47,458 | 30,098 | 22,355 | 13,032 | 6,030 |
| | 重症/死亡者数(人) | 8/0 | 4/0 | 3/1 | 9/4 | 11/2 | 17/11 | 34/21 | 104/76 | 191/165 | 164/157 |
| | 重症化率(%) (95%信頼区間) | 0.01 (0.01-0.03) | 0.01 (0.00-0.02) | 0.00 (0.00-0.01) | 0.01 (0.01-0.03) | 0.02 (0.01-0.03) | 0.04 (0.02-0.06) | 0.11 (0.08-0.16) | 0.47 (0.38-0.56) | 1.47 (1.27-1.69) | 2.72 (2.32-3.16) |
| | 致死率(%) (95%信頼区間) | 0 (0.00-0.01) | 0 (0.00-0.01) | 0.00 (0.00-0.01) | 0.01 (0.00-0.02) | 0.00 (0.00-0.01) | 0.02 (0.01-0.04) | 0.07 (0.04-0.11) | 0.34 (0.27-0.43) | 1.27 (1.08-1.47) | 2.60 (2.22-3.04) |

※1 茨城県は医師の判断において明らかに別の死因によるもの（溺死や交通外傷等）は除外して集計している。

※2 令和4年1～2月、3～4月のデータは再掲。（<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000987078.pdf>）

※3 95%信頼区間はClopper-Pearson's exact binomial confidence interval により算出。

※4 感染者数は感染症法に基づく報告による新型コロナウイルス感染症の陽性者であり、無症候性病原体保有者を含む全ての感染者を補足できておらず、重症化率・致死率を過大評価している可能性がある。8

※5 各期間における感染者数、重症者数、死亡者数を単純に集計しており、背景因子等が調整されていないことに留意が必要。

まとめ

- 令和5年度の新型コロナワクチンの接種については、2月の接種の方針を踏まえ、接種の目的及び対象者は以下の通り。
 - まずは重症者を減らすことを目的とし、高齢者など重症化リスクが高い者を接種の対象とする。
 - 重症化リスクが高くない者であっても、重症者が一定程度生じており、接種機会を確保することが望ましいことから、全ての者を接種対象者として、接種機会を提供する。
 - 現在実施している接種の公的関与の規定（努力義務及び接種勧奨）適用の状況は以下の通りである。
 - ・ 初回接種・・・・・・・・・・・・・・・・・・接種可能な全ての年齢
 - ・ 追加接種（令和5年春開始接種等）・・・高齢者等重症化リスクの高い方
- 【諸外国等の状況について】
- WHOは、声明において、高齢者等については更なる追加接種を推奨する一方、健康な乳幼児、小児、成人等に対する更なる追加接種は推奨せず、**健康な乳幼児、小児については、初回接種を含め、疾病負荷等を踏まえ各国において検討すべき**としている。
- 【我が国におけるオミクロン株の流行状況】
- 年齢別の重症化率や致死率については、令和4年1月～8月の間において、**高齢者の重症化率や致死率が高い一方、それ以下の世代については重症化率や致死率は低い**状況にある。

事務局案

- 【接種の対象者について】
- 本年3月の分科会において示された令和5年秋開始接種の対象者について、WHOの声明や我が国における流行状況等を踏まえ、**引き続き、重症者を減らす目的のもと、高齢者など重症化リスクが高い者を接種の対象としつつ、その他の全ての者については接種機会を提供する（公的関与の規定を適用しない）**こととしてよいか。
- 【公的関与の規定の適用について】
- 令和5年秋冬の接種の目的が重症化予防とされており、重症化リスクの高くない者に対しては接種の機会を提供することとされていることを踏まえ、**秋以降の接種における初回接種の公的関与の規定は重症化リスクの高い者にのみ適用すること**としてはどうか。

令和5年秋開始接種について（案）

| | | | R5.3.8 | R5.5.8 | R5.9.20 | R6.3.31 | |
|------------------|----------------|--------------------|----------------|-----------------------------|-----------|--|--|
| | | | 令和4年秋開始接種 | 令和5年春開始接種 | 令和5年秋開始接種 | | |
| 追加接種 | 12歳以上 | 65歳以上 基礎疾患あり | ○ | 接種対象 オミ対応2価 ワクチンを使用※2 | ○ | ○ | 接種対象 用いるワクチン※1は XBB対応1価 ワクチンを基本※2 |
| | | 医療従事者等 | | | × | × | |
| | | 上記以外 (健常な65歳未満) | | | 接種対象外 | | |
| | 5～11歳 | 基礎疾患あり | | | ○ | ○ | |
| | | 上記以外 (健常な小児) | | | 接種対象外 | | |
| | 6か月～ 4歳 | 基礎疾患あり | | | 接種対象外 | | |
| 上記以外 (健常な乳幼児) | | 接種対象外 | | × | | | |
| 初回接種 | 6か月以上の 全ての方 | 65歳以上 基礎疾患あり | 接種対象（公的関与 ○） | | ○ | 接種対象 用いるワクチン※1は XBB対応1価 ワクチンを基本※2 | |
| | | 上記以外 (健常な方) | 従来型 ワクチンを使用 | オミ対応2価 ワクチンを使用※2 | × | | |

←
→
▲8/7以降

→
未接種者は継続（公的関与 ×）

注 公的関与とは、被接種者及び保護者に対する努力義務と市町村に対する接種勧奨の義務のことをさす。

※1 7月7日付けで企業より薬事申請されており、現在薬事審査中である。

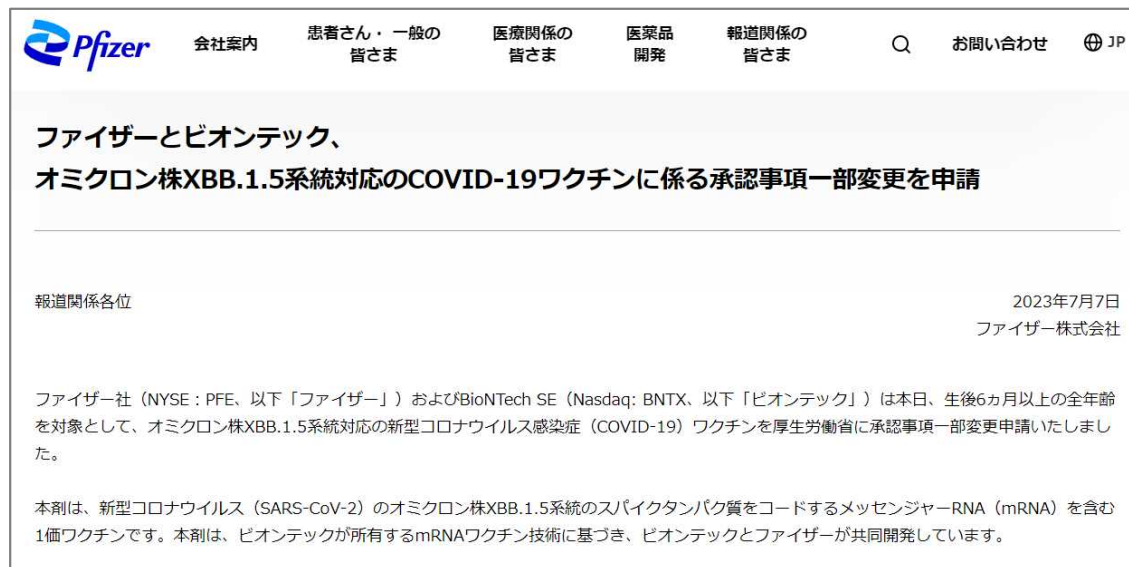
※2 何らかの理由でmRNAワクチンが接種できない方には、組換えタンパクワクチンの選択肢を確保することも考えられる。

XBB.1系統を含有する1価ワクチンについて

ファイザー社及びモデルナ社は、7月7日にオミクロンXBB.1.5対応1価ワクチンを薬事申請している。

- ファイザー社
 - ・ 生後6か月以上を対象
 - ・ 初回及び追加免疫を目的

- モデルナ社
 - ・ 6歳以上を対象
 - ・ 追加免疫を目的



The image shows a screenshot of a Pfizer press release page. At the top left is the Pfizer logo. To its right are navigation links: '会社案内' (Company Info), '患者さん・一般の皆さま' (Patients & General Public), '医療関係の皆さま' (Medical Professionals), '医薬品開発' (Drug Development), and '報道関係の皆さま' (Media). There is also a search icon and 'お問い合わせ' (Contact Us). The main headline reads: 'ファイザーとピオンテック、オミクロン株XBB.1.5系統対応のCOVID-19ワクチンに係る承認事項一部変更を申請' (Pfizer and BioNTech apply for partial approval changes for COVID-19 vaccine against XBB.1.5 variant). The date is '2023年7月7日' (July 7, 2023) and the company is 'ファイザー株式会社' (Pfizer Inc.). The text states that Pfizer and BioNTech have applied for partial approval changes for their COVID-19 vaccine against the XBB.1.5 variant, effective for children aged 6 months and older. The vaccine is a monovalent mRNA vaccine containing the spike protein of the XBB.1.5 variant, developed jointly by Pfizer and BioNTech.



The image shows a screenshot of a Moderna press release page. At the top left is the Moderna logo. Below it is the text '報道関係各位' (Dear Media). The date is '2023年7月7日' (July 7, 2023). The main headline reads: 'モデルナ、「スパイクバックス®筋注」において、オミクロン株（XBB.1.5）に対応した追加免疫に関する承認事項一部変更申請' (Moderna applies for partial approval changes for additional immunization against XBB.1.5 variant for Spikevax®). The text states that Moderna Inc. (referred to as Moderna) has applied for partial approval changes for its COVID-19 vaccine, Spikevax® (XBB.1.5), for additional immunization of children aged 6 years and older. The vaccine is a monovalent mRNA vaccine containing the spike protein of the XBB.1.5 variant, developed jointly by Moderna and Pfizer.

諸外国における2023年秋冬に使用される新型コロナウイルスワクチン（株選定）に係る状況

2023年秋冬接種において推奨するワクチンについて、一部の国等において方向性を発表している。

| 国・地域 | 基本方針の 発出機関 | 2023年秋接種の 推奨ワクチンの見通し | スケジュール | (参考) 2023年春接種で使用が推奨 されているワクチン |
|--|---------------|--------------------------|---|--|
|  米国 | CDC/FDA | 1価のXBB系統 (XBB.1.5が妥当) | 2023/6/15 FDA VRBPAC (Voting 21/21で賛成) | オミクロン株対応2価ワクチン (初回接種・追加接種共に) (2023/4/19) |
|  英国 | NHS | 未発表 | 未発表 | 5-11歳：従来型ワクチン 12-17歳：オミクロン株対応2価ワクチン 18歳以上：オミクロン株対応2価ワクチン又は 組換えタンパクワクチン (2022/9/4) |
|  カナダ | NACI | 未発表 新しい組成のワクチン※1 | 未発表 2023/7/11 声明発表 | 初回接種：従来型ワクチン 追加接種：オミクロン株対応2価ワクチン (2023/3/3) |
|  フランス | 保健省 | 未発表 | 未発表 | 初回接種：従来型ワクチン 追加接種：オミクロン株対応2価ワクチン (2023/4/27) |
|  ドイツ | 保健省 | 未発表 | 未発表 | 初回接種：従来型ワクチン 追加接種：オミクロン株対応2価ワクチン (2022/12/31) |
|  イスラエル | 保健省 | 未発表 | 未発表 | 追加接種：オミクロン株対応2価ワクチン (2023/1/16) |
|  国際連合 | WHO | 1価のXBB.1系統 (従来株を含めない) | 2023/5/18 声明発表 | オミクロン株対応2価ワクチンが、従来型に比 べて優れる可能性。(2023/3/30) |
|  EU | EMA | 1価のXBB.1系統 (従来株を含めない) | 2023/6/6 声明発表 | 言及なし |

※1 NACIから株の発表はないが、Health CanadaでXBB.1対応1価ワクチンを審査中。

Source: [CDC](#), [CDC](#), [CDC](#), [FDA](#), [NHS](#), [UKHSA](#), [UKHSA](#), [UKHSA](#), [JCVI](#), [Health Canada](#), [NACI](#), [NACI](#), [NACI](#), [HAS](#), [フランス保健省](#), [STIKO](#), [DoctorsOnly](#), [WHO](#)

令和5年秋冬の接種等に関する事務連絡（令和5年8月4日発出）

事務連絡
令和5年8月4日

各（都道府県）
市町村 衛生主管部（局） 御中
特別区

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

今後の新型コロナワクチン接種について（その6）

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年度の新型コロナワクチン接種については、現在、令和5年春開始接種の実施に取り組んでいただいているところです。

8月2日より開催（持ち回り）された厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（以下「分科会」という。）において、初回接種等に用いるワクチンの種類及び本年度秋冬の追加接種で使用するワクチンの種類等について検討が行われました。

秋冬の接種（以下「令和5年秋開始接種」という。）については、今後分科会において、最終的な結論を得ることとしておりますが、今回の分科会の議論を踏まえた現時点の方針を下記のとおりお知らせしますので、各都道府県及び市町村（特別区を含む。以下同じ。）におかれましては、本事務連絡の内容等を踏まえて、順次準備を進めていただきますようお願いいたします。

記

1. 初回接種等の実施について

(1) 初回接種について

8月2日にオミクロン株対応2価ワクチンの初回接種の使用が薬事承認されたところ、初回接種に用いるワクチンをより高い効果が見込まれるものとするのが適当であることから、既に供給されているファイザー社のオミクロン株（BA.1及びBA.4-5）対応2価ワクチン及び5～11歳用オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチンを、8月7日より成人及び小児の初回接種に用いることとする。

ただし、8月7日以降であっても令和5年秋接種開始までの間に従来型ワクチンを接種した場合も間違い接種との扱いはしないこととするため、医療機関にその旨、周知をお願いしたい。

(2) 6歳以上11歳以下の者に対するオミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチンの接種について

8月2日にモデルナ社オミクロン株（BA.4-5）対応2価ワクチンの6歳以上11歳以下の者への使用が薬事承認されたことを踏まえ、8月7日より同ワクチンを令和4年秋開始接種及び令和5年春開始接種の使用ワクチンに位置づけ、初回接種を完了し、前回の新型コロナワクチン接種の終了後3か月以上経過した6歳以上11歳以下の対象者に対して接種可能とする。

2. 令和5年秋開始接種について

令和5年秋開始接種は、9月20日から開始することとし、現在の流行主流株であるオミクロン株XBB.1.5対応1価のワクチンの使用を基本とすること。

これに伴い、令和4年秋開始接種及び令和5年春開始接種は9月19日をもって終了となるため、各市町村においては、住民に対して、令和4年秋開始接種及び令和5年春開始接種の終了時期を周知し、未接種であってこれらの接種を希望する者には早期の接種予約を促すこと。

なお、令和5年8月末までの新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業に関しては、令和5年3月24日付け事務連絡でお示ししたとおりであるが、9月以降の当該事業の内容に関しては、改めてお示しする。

3. その他

上記1・2以外の今後の新型コロナワクチン接種に係る現時点の方針については、「今後の新型コロナワクチン接種について（その5）」（令和5年6月16日付け厚生労働省健康局予防接種担当参事官室事務連絡）を参照すること。

以上

2. 本日の論点：用いるワクチンについて

まとめ

【オミクロンXBB.1.5対応のワクチンの状況について】

- 前回の分科会において、令和5年秋冬の接種に使用するワクチンについては、「新型コロナワクチンの製造株に関する検討会」からの報告等を踏まえ、XBB.1系統を含有する1価のワクチンとされた。
- 7月7日付けで、企業よりオミクロンXBB.1.5対応1価ワクチンが薬事申請された。
- オミクロンXBB.1.5対応1価ワクチンについては、薬事承認ののち、接種開始までには、一定のワクチン量を確保する必要がある上で、配送に当たっても一定の期間を要する見込みであり、現時点では、9月以降順次配送が行われる予定である。
- 8月2日より開催した分科会において、接種の開始時期について確認頂いた上で、同月4日には市町村に対して事務連絡を発出した。



事務局案

【用いるワクチンについて】

- 令和5年秋冬の接種に使用するワクチンは、オミクロン XBB.1.5対応1価のワクチンを基本としてはどうか。
※ 令和5年春開始接種と同様、何らかの理由でmRNAワクチンが接種できない方においては、組換えタンパクワクチンの選択肢を確保することも考えられる。
- 今後、薬事承認を踏まえ、改めて本分科会に諮った上で、令和5年秋開始接種に用いるワクチンを特例臨時接種に位置づけることとしてはどうか。

【接種の開始時期について】

- 接種の開始時期については、令和5年9月20日を見込んで、準備を進めることとしたい。